

研究開発における「生成系 AI」活用のヒントと落とし穴

～今後 AI はさらに活用が広がるが、その時人間は知をどのようにマネジメントしたらよいか～

講師：倉地 育夫氏

株式会社 ケンシュー 代表取締役 工学博士

ChatGPT の登場で生成系 AI に注目が集まっている。これまでのニュースで AI の文書作成能力が報じられてきたが、研究開発では、文書要約機能による科学論文の調査の効率向上が短期的成果として期待されている。その他、汎用大規模言語モデル (LLM) の活用による論文生成能力や大量文書読み込み要約能力など既存の生成系 AI 機能について活用方法が出そろった。

さて、生成系 AI がもたらす変化として、科学知識について獲得スピードが上がることや、R & D の戦略・意思決定において調査を迅速化し効率向上などが指摘されても、生成系 AI の登場で知識労働者の業務遂行における変革が生じた、「知」における人間の役割変化があまり論じられていない。例えば、形式知や優れた経験知は、今後 AI の方が人間よりも迅速にかつ幅広い分野で活用され、専門家が不要になる可能性すらある。

本セミナーでは、業務遂行に必要な知のパラダイムシフトに関し、生成系 AI が実現する未来を想定し、「AI を活用した問題解決法」として解説する。

解説を具体的に展開するために、生成系 AI が誰でもわかるように解説した「電気粘性流体の耐久性問題」を事例に、1. この問題を科学的に解決した結果、2. データサイエンスを活用した問題解決結果、3. 生成系 AI による問題解決結果を体験談とともに考察しながらセミナーを進行する。その他ノーベル賞の事例も含め、AI が如何に進歩しても、人間の知の役割が残り、AI と「友物」関係を形成して問題解決にあたる新パラダイムを提案する。

【講師経歴】 1977年3月名古屋大学工学部合成化学科卒業、1979年3月同大学院工学研究科応用化学専攻博士課程前期修了、1983年4月科学技術庁無機材料研究所留学（1984年10月まで）、1992年9月学位取得（工学博士；私立中部大学）、1979年4月ブリヂストンタイヤ入社（現；ブリヂストン）、1984年11月ブリヂストン研究開発本部復職、1991年9月ブリヂストン退社、1991年10月 コニカ 第四開発センター入社（主任研究員）、1993年4月 福井大学工学部客員教授、1993年11月 コニカ 感材技術研究所主幹研究員、1998年6月 同社 MG 開発センター主幹研究員、2001年8月 同社中央研究所所長付主幹研究員、2005年8月 コニカミノルタビジネステクノロジーズ 生産本部 生産技術センターデバイス技術部第3デバイスグループリーダー、2008年10月 同社生産技術センターデバイス技術部担当部長、2009年4月 同社開発本部化粧品開発センター機能部材開発部担当部長、2011年3月 コニカミノルタビジネステクノロジーズ定年退社（57歳）、2011年3月 ケンシュー設立 代表取締役社長就任（現在に至る）**【受賞歴】** 2000年5月 第32回日本化学工業協会技術特別賞受賞、2004年5月 写真学会ゼラチン賞受賞（その他 ブリヂストンの超高純度βSiC 半導体技術が日本化学会化学技術賞受賞**【活動】** 高分子学会代議員、高分子同友会開発部世話人、日本化学会代議員、日本化学会産学交流委員会シンポジウム分科会主査、同委員長、日本化学会春季年会講演賞審査委員長など、共著多数

開催日時	2024年8月7日（水）10：30～16：30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用の URL を別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。
受講料	55,000円（税込） ※ 資料、プログラムコード付 * メルマガ登録者 49,500円（税込） * アカデミック価格 26,400円（税込）	

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。
★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります★【対象者】研究開発の実務に携わる全担当者及び管理者、事業企画に携わる担当者及び管理者
【習得できる知識】生成系 AI の活用の仕方、新時代の問題解決法、事業企画における AI の活用の仕方

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 緒言	2. 3. 2. 文書作成代行	4. 1. コンピューター言語とオブジェクト指向
1. 1. コンピューターの登場と知識労働者	2. 3. 3. 各種文書の不備	4. 2. オブジェクト指向とアイデア創出
1. 2. AI の歴史と生成系 AI	2. 3. 4. 特許明細書案作成アシスト	4. 3. データとヒューリスティック
1. 3. トランスサイエンス	2. 3. 5. Python プログラミングアシスト	5. 生成系 AI を活用した問題解決法
1. 4. コンピューターによる問題解決法とは	3. AI を活用した業務遂行に潜む問題	5. 1. 日々の業務に問題解決力は必須
2. 機械学習及び生成系 AI の研究開発における活用事例	3. 1. 生成系 AI が解説する電気粘性流体	5. 2. 非科学的なノーベル賞の受賞事例
2. 1. データ駆動と生成系 AI	3. 2. 否定証明	5. 3. 問題解決法で期待される AI の役割
2. 2. 機械学習活用事例	3. 3. 科学と技術	6. まとめ：知のマネジメント
2. 3. 生成系 AI 活用事例	3. 4. データサイエンスの問題解決力	
2. 3. 1. 各種情報調査	3. 5. データサイエンスと科学	
	4. アイデア創出法と生成系 AI	

弊社記入欄	ウェビナー申込書		
セミナー名	研究開発における「生成系 AI」活用のヒントと落とし穴 ～今後 AI はさらに活用が広がるが、その時人間は知をどのようにマネジメントしたらよいか～		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合はQ↓	会社名（団体名）	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏名	
お支払方法	銀行振込 ・ その他	お支払予定	2024年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (order_7053@cmcre.com) でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <https://cmcre.com>参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

2024年8月7日（水）開催

研究開発における「生成系 AI」活用のヒントと落とし穴

～今後 AI はさらに活用が広がるが、その時人間は知をどのようにマネジメントしたらよいか～

講師：倉地 育夫氏

株式会社 ケンシュー 代表取締役 工学博士

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が悪くなる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。